

クラス	301	担当教員	小川しおり
テーマ	児童期・青年期の発達と心の理解		
著書・論文 研究課題等	<p>著書：「臨床児童青年精神医学ハンドブック」（共著）西村書店、2016年、 「幼稚園・保育園児 集団生活で気になる子どもを支える」（共著）明石書店、2016年、他 論文：「児童期の不安（子どもの不安、親の不安）を扱う」精神療法 第45巻5号、2019年 「自閉症を持つ子どもと大人のよりよい未来のために」医学のあゆみ vol.268 no.3、2019年、 「ICD-11における神経発達症群の診断について」精神経誌 vol.240 no.10、2022年、「発達障害の定義はどうなっていますか」精神医学 65巻5号、2023年、他 研究課題：感染症流行下等の社会的な環境変化による子どもの心身への影響の評価方法及び 対処法の確立に向けた研究、外国にルーツのある発達障害児の支援、他</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：児童精神医学、学校精神保健、発達障害、育児支援、不登校、コロナ禍の影響			
<p>&lt;目的・内容&gt; 医療・福祉・教育現場での心理社会的支援について学ぶことを目的とします。今日のメンタルヘルスの課題や展望について文献や事例を通して議論し考察を深めます。ゲスト講義（先輩ゼミ生に聞く進路選択、社会的養護の子どもについて、小児看護の視点から見た障害を持つ子どもと家族の支援、富山県「ひとのま」居場所支援、東京都児相出前講義など）、施設見学を行います。</p> <p>&lt;学習目標&gt; *様々な精神疾患の心理学的特徴を把握し、その知識を心理療法的アプローチに応用することができる。 *体験学習や学外活動（療育センター、精神科病院見学）等を通して得られる気づきを言葉で表現する。 *人前で感想や意見を伝える・質問をする、プレゼン資料を作成し発表することに慣れる。</p> <p>&lt;授業計画&gt; 3年次はグループでの作業・活動が主となります。事前・事後学習を通して、自分の興味のあるテーマを見つけ深めていきます。卒業研究のテーマに関連して文献検索を行い発表する、予備調査を行い研究計画を練るなど班で助け合いながら取り組みます。4年次にはそれぞれのテーマに沿って実際の調査・研究に着手し、意見交換を通して検討し卒業論文をまとめていきます。</p> <p>担当教員は大学病院、精神科病院、療育センター等にて精神科医師として勤務し多職種からなるチーム医療の経験を積むとともに、地域の福祉・教育機関との連携を通して育児・発達支援に力を入れてきました。具体的な事例や最新の知見を取り入れることで、臨床現場での出会いを学生の皆さんに生き生きと実感してもらい、アセスメントと心理支援について一緒に考えていきたいと思っております。皆さんの身近な経験から興味を持ったトピックを掘り下げていけるよう話題提供ができればと考えています。ぜひ率直な意見や感想を出して下さい。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>単位取得については特に3年時は出席を重視します。いろいろな個性の人が安心して暮らせるようになること、世の中を良くすることに少しでも貢献できるような研究につながるように根気強く取り組んでいけたらと思います。</p> <p>ゼミでは、学び方を学び、発見や探求の楽しさ・感動を体験できると素晴らしいと思っております。「よく学んだ人間ではなく、学びつづける人間を育てること」が重要という思いでサポートしていきます。皆さんにゼミで取り上げてほしい内容について希望を出してもらいながら一緒に充実したゼミになるよう頑張ります。</p> <p>入ゼミ希望者はエントリー期間に面談（対面または zoom）を行います。事前にメールでご連絡下さい。小川ゼミではメールやLINEで連絡がつくことが条件です（遅刻・欠席のときは必ず連絡、メールやLINEをチェックして返信できること）。</p>			